

朱七だより

令和6年度第2回
学校評価臨時号

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/suzakudai7-s/>

12月に行いました学校評価アンケートに多数ご協力をいただき、ありがとうございました。

保護者の皆様からたくさんの回答をいただきました。この学校評価臨時号では、保護者アンケートに加え、児童のアンケート、教職員の自己評価の結果を合わせてお知らせします。この結果をもとに、学校・家庭・地域が今まで以上に連携しながら、さらに子どもたちを育む今後の学校づくりに生かしていきたいと思っております。

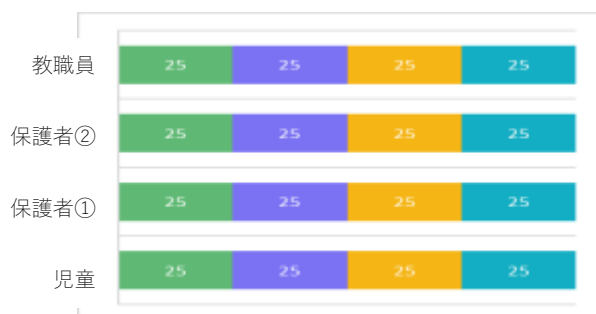
たくさんのご回答ありがとうございました

前期と同様に、児童アンケート、保護者アンケート、教職員アンケートそれぞれの質問項目の関連性を考慮し、児童の自己評価から見られる様子に対して家庭と学校がどのように感じており、どのように関わっていくとよいかについて分析いたしました。それぞれの質問について、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」を肯定的な意見として捉え、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」を改善が必要な点として見つめ、今後の教育活動をよりよくしていくための指標としています。児童の自己評価・教職員評価・保護者評価を合わせて分析した結果をお届けします。

グラフの見かた

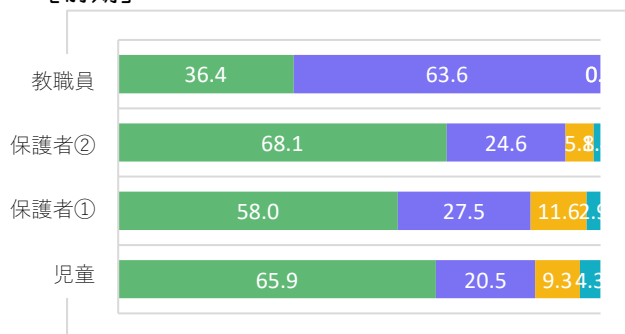
○下段より児童アンケート、保護者アンケート①(児童の様子)、
保護者アンケート②(家庭での取組)、教職員アンケート

○色分け左より「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」
「あまりあてはまらない」「あてはまらない」

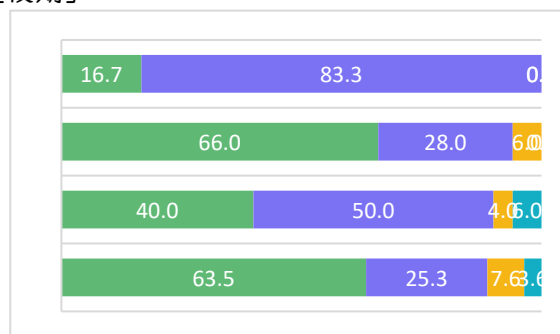


【Q.学校は楽しい。】

〔前期〕



〔後期〕



学校を楽しんでいる児童が増加しました(前期 86.4% → 後期 88.8%)。2学期は、スポーツフェスティバルや学習発表会、5年生の宿泊学習など学校行事が多く、ひとつひとつの行事を通して子どもたちの意欲や達成感が満たされていたことが大きく影響していると思います。学校を楽しみに思い、登校し、元気に過ごしている児童がたくさんいるというのはとてもうれしいことです。一方で「楽しくない」と感じている児童がいることを真摯に受け止め、日々の児童の様子を見守り、個別に話を聞いたり必要な指導を行ったりしながら全員が健やかな学校生活を送ることができるよう努めていきたいです。

【「すすんで学ぶ子」～自分の考えをもち、自ら表現する子～】

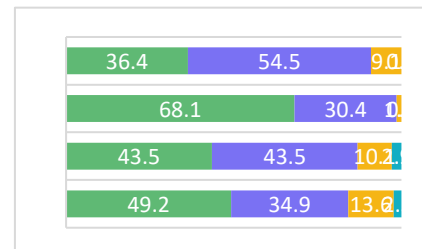
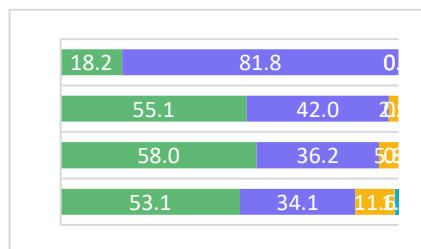
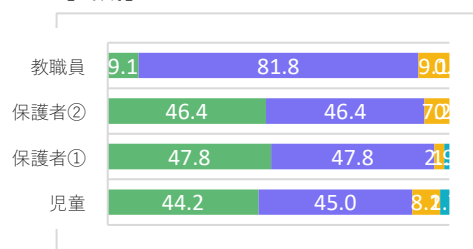
○先生や友達の話をよく聞き、

○めあてをもって努力している。

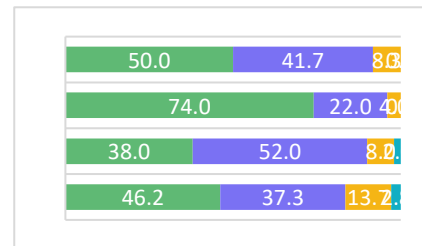
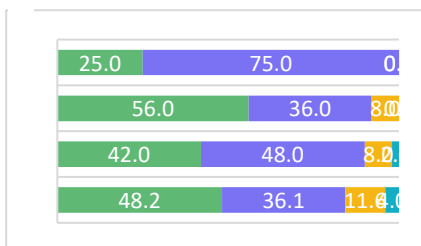
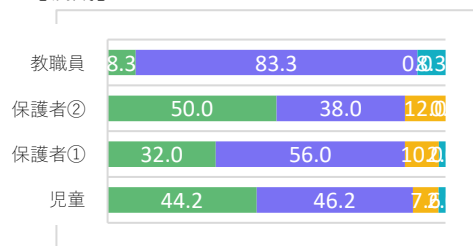
○わかるまで粘り強く勉強をしている。

自分の考えをしっかりと話している。

〔前期〕



〔後期〕



子どもたちのアンケート結果から、前期に引き続き学習に対して前向きな姿勢がうかがえます。話をよく聞いて考えをしっかりと話すこと、分かるまで粘り強く取り組むことが定着していると考えられます。「めあてをもって努力している」に対する児童の回答は、前期と比較すると若干低くなりました。単元を通して、またこの1時間で何を学ぶのかというめあてを明らかにしておくことで活動に見通しをもつことができ、深い学びにつながります。今年度は算数科と体育科を中心に研究を進めてきましたが、どの教科においても、また生活場面においても見通しをもって行動することは重要なことです。次年度も子どもたちの主体性を大切にした学びを大切に、自分の考えをもち自ら表現する学びを追究していきたいと思っています。

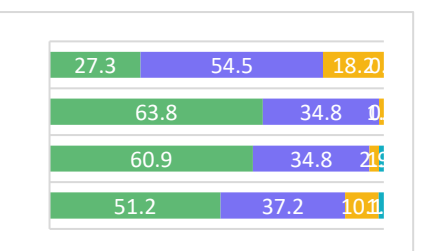
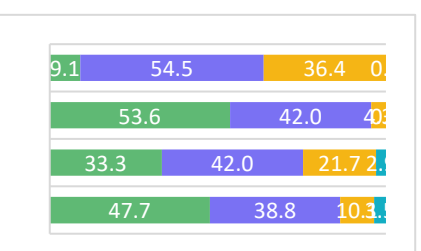
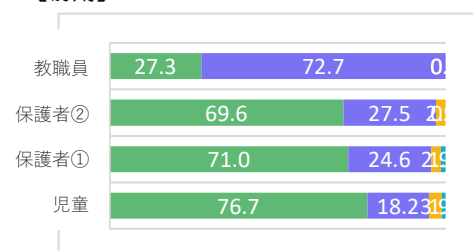
【「学び合える子」～互いに認め合い、共に高め合う子～】

○自分や人を大切にしている。

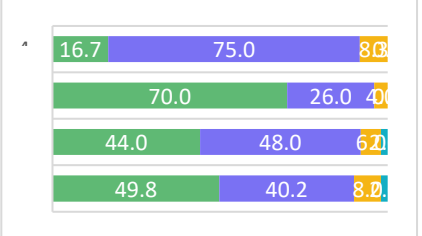
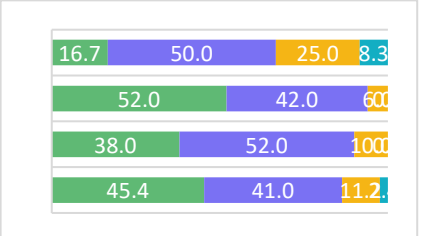
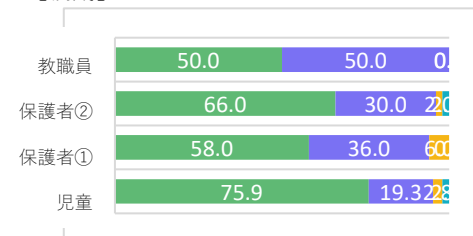
○いつも自分からあいさつをしている。

○朱七のきまりを守ることができている。

〔前期〕



〔後期〕



「自分や人を大切にしている」という設問に対して、前期と同じく後期も95%の児童が肯定的に回答しています。また、保護者の方や教職員に関しても肯定的な意見が多く、人を大切にするについて学校と家庭が日頃から子どもたちに声かけや取組を進めている結果が表れていると感じています。朱雀フォーラムで松永さんのお話を聞いたり、ハートフルで人権に関する取組を行ったり、たてわり活動で温かい関わりをしたりする中で、人権感覚を磨き高めている子どもたちです。あいさつに関しては他の設問に対して肯定的な回答が低い状態です。ハッピープラン委員会の子どもたちが元気で気持ちのよいあいさつを呼びかけてくれていました。あいさつはコミュニケーションの第一歩です。自分から気持ちのよいあいさつができるよう、取り組んでいきたいと思っています。

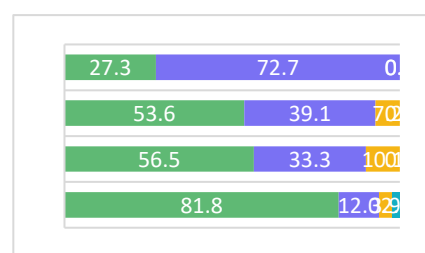
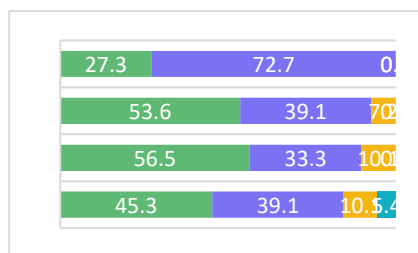
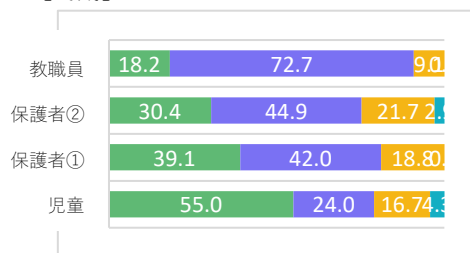
【「学びを生かせる子」～自分の未来を切り拓く子～】

○自分から積極的に運動している。

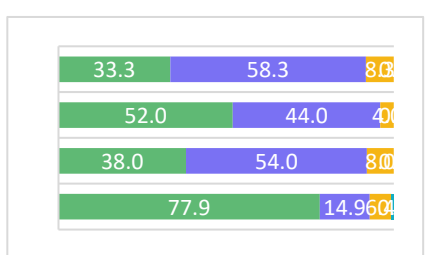
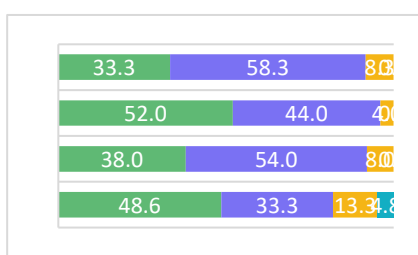
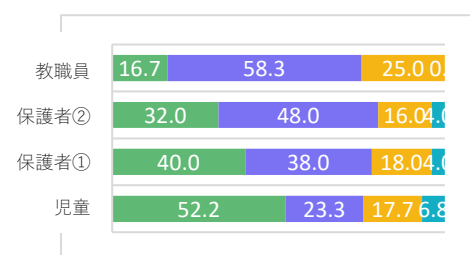
○早寝・早起き・排便に気をつけて生活をしている。

○毎朝、きちんと朝ごはんを食べている。

〔前期〕



〔後期〕



「自分から積極的に運動している」という設問に対しての回答が、3者とも前期から低下しました。冬を迎えて寒さが厳しくなり、外で遊ぶことが少なくなってしまったと考えられます。学校では、体育科の学習に加えて、中間マラソンや縦割り活動、児童会活動等を通してみんなで体を動かす機会をつくっています。2月には児童集会の取組としてアイビーペア学年による玉入れ大会が行われました。寒い中でも友達と一緒に体を動かす子どもたちには笑顔があふれ、大きな歓声が上がっていました。運動量は個人差が大きくなりますので、運動量が少ないと感じられている場合はぜひご家族で何かひとつ運動を始めてみてはいかがでしょうか。お風呂上がりのストレッチ、休日のサイクリング、徒歩でのお買い物…、体を動かすと心も体もリフレッシュされます。運動に加えて食事や睡眠などの生活習慣を整えて、元気いっぱいの毎日を過ごしてほしいと思います。